

心身症グループ

長岡赤十字病院、県立新発田病院、済生会新潟病院、県立吉田病院が県内の心身症医療の中心的な役割を担っています。各病院は、近隣医療機関、学校、市町村役場、児童相談所などと連携を取りながら、心身症で困っている子どもたち、その親御さんたちを支えています。不登校・神経発達症・うつ病・不安障害・睡眠障害・被虐待児・摂食障害・起立性調節障害・過敏性腸症候群などのお子さんを対象にしています。

一般臨床を経験している先生方も実感しておられると思いますが、広い意味での心身症は小児科にとって今や common disease です。コロナ禍で需要は減るところかますます増えている実感があります。児童精神科を含めて、新潟の子どもの心のケア体制は不足しています。小児の定型発達を多く見ていること、身体症状にアプローチできること、母子をひとまとまりとして接する習慣があることなど、小児科には精神科にはない大きな強みがあります。結果が出るまでに時間がかかりますが、一人の患者さんとじっくり向き合うのが苦にならない先生方にお勧めです。非常にやりがいのある分野です。子育て中の先生方にも、サブスペシャリティとして選択してもらえればと思います。

留学先として、静岡県立こども病院こころの診療科、国立成育医療研究センターこころの診療部、福井大学児童青年期こころの専門医育成部門などがあります。興味のある方はお気軽に、心身症班のメンバーにお声がけください。

グループメンバー： 日本小児心身医学会を主たる学会活動の場としています。

長岡赤十字病院（田中篤、中村久乃、目黒茂樹）

県立新発田病院（塚野喜恵、飯田知子）

済生会新潟病院（藤井小弥太）

県立吉田病院（牧野仁）

上越総合病院（坂井知倫）

国立病院機構新潟病院（田中英）

※メンバーは大学以外に勤務しているため、患者様の紹介をご希望場合は各施設にお問い合わせください。